

# みんなの文芸



## 俳句

### うらほろ俳句会

新入りの襟足清し決意見ゆ  
花終る隣家灯らぬまゝ過ぎて  
空もよう猫の目のごと春の雪  
根のいでし七草の一つ鉢に伸ぶ  
のの字巻き凜とたちたり草そてつ  
波にのり波にのりつゝ鴨帰る  
紐結び直して軽い春の靴

井下まさの  
大山みどり  
黒田ちえ子  
柴田 岱華  
菅谷 日月  
福原 仁子  
山村 幹雄

## 川柳

### 浦幌川柳会

かくれんぼする子はおらずスマホかな  
七度目の戌年ハウスに菜っ葉蒔く  
結び目を緩め人生の余韻解き  
住むねずみ頭かくして壊れ壺  
皐月来てわたしの身体ほぐれだす

大山 研  
山村 幹雄  
阿部 麗紅  
加藤 未貴  
橋本 葉子

## 川柳

### 上浦幌句の会

体の力が春の風邪うばわれし  
度忘れについに口開く一人ごと  
春風に呼ばれて顔出す福寿草  
敬老会呼んで頂きありがたき  
雪見酒となった春の村祭り  
大空に強く育てよ鯉のぼり  
早いもの孫も中学がんばろう  
だんだんと春の足音聞こえるよ

笹島カヨ子  
河村みよ子  
芳川 乙美  
加藤 明敏

## 短歌

### 心友愛会

今日もまた皆さんのお世話に成りながら  
感謝しながら生活しています  
春告げるふきのとうやらクロッカス  
玄関にかざり温もり抱く  
仙台の旅ゆくままに春めいて  
桜も咲き始め心ちよき日々

前川 静江  
中田 麗子  
浅野 京子

雨上がり友と眺める我が庭の  
水仙咲いて黄色が目染みる  
昔からことわざの中顔で笑い  
心で泣いて笑顔忘れず

山岸 明美  
小川 房子

今日もまた元気もらって生きている  
何を食べても好物ばかり  
もどかしい過ぎたる日々の哀愁を  
七十路の今は成す術もなく

小澤 つや  
佐藤 成子

山すそを渡り来る風青春の  
淡き夢をのせ友に出会いて

星 愛子

## 編集後記

■今年の桜はいかがだったでしょうか。市街地では、次々と開花しちようどピークを迎えたあたりで雨が降ったり気温が下がったりしてちよびり残念でしたが、それでも美しい花を堪能できた方も多いのではないのでしょうか。

■運動会・体育祭のシーズンとなりました。当日全力を尽くして競技し、応援した結果も注目ですが、児童生徒がアイデアを出し合い、チームワークを育みながら一つの目標に向かって準備を進め、当日想いを爆発させる姿は、毎年のことながら胸が熱くなります。

■当日は地域のコミュニティにとっても一大行事。どうか好天に恵まれるよう願っています。

(大)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。